

(1) 本時の目標

- ・相手の気持ちを考えて適切に情報を発信しようとする。(関心・意欲・態度)
- ・チャットの特徴を知り、安全に正しく使うことができる。(生活の技能)

(2) 準備

指導者：学習プリント、フラッシュカード

生徒：筆記用具、授業ファイル

(3) 本時の学習展開

過程	学習活動	教師の働きかけ	評価
導入 5分	チャットとは何かを知る。	チャットとは何かを理解させるために、スカイプなどの身近な例を取り上げて説明する。	
展開 30分	「チャット」をテーマにしたビデオを見る。 チャットの良いところ、悪いところをグループで話し合い、発表する。 ・誰でも手軽にインターネット上で会話できるところが良い。 ・表情が見えないので、相手の気持ちがわかりにくいところが悪い。 もう一度同じビデオを見る。 ビデオの4人は何に気をつけてチャットをすれば良かったのかをグループで話し合い、発表する。 ・相手の気持ちを考えて発言する。 ・冷静に物事を考える。 チャットの擬似体験を行う。 ・個人情報を入力するのは危険かな。 ・思いのすれ違いが起きそうだな。	チャットが普及している理由に気づかせるために、メリットとデメリットを考えさせる。 ビデオの内容を再確認するために、もう一度同じビデオを見せる。 記入できていない生徒のために、「チャットと普通の会話の違いは何だろう。」などと、ヒントを出していく。	「相手の気持ちを考えて発言する。」などの記述がされているか。(ワークシート)
まとめ 10分	ワークシートにチャットを利用する上で気をつけたいことを記入し、発表する。	チャットの危険性を再確認させるために、気をつけたいことをワークシートに書かせる。	チャットの特徴を知り、安全に正しく使おうとしているか。(発表・ワークシート)